

I 総括的概要

平成 26 年度は、「宝塚歌劇 100 周年」「宝塚市制 60 周年」「手塚治虫記念館 20 周年」という、いわゆるトリプル周年の記念事業を中心に各種の記念事業が実施され、話題の多い一年となりました。会議所青年部が実行委員会の一翼を担った「1 万人のラインダンス」が全国の注目を集め、見事に世界一に認定されギネスブックに記載されました。

また、宝塚商工会議所はトリプル周年を期に、これからの 100 年に向けて平成 27 年度から 3 年間の『たからづか経済活性化プラン』を策定しました。課題を解決する商工会議所を強く意識し、会員事業所の繁栄を通して地域の発展を目指し、引き続き活動を拡大してまいります。

本年度の個別の成果については、次のとおり報告いたします。

<重点事業 1> ワンコイン de スタンプラリー 2014

5 回目を迎えた当該事業は、各地で同様の事業に取り組む商工会議所が増加し、活性化モデル事業として高い評価を得ています。

ほぼ前年並みの 300 事業所に参加頂き、地域の高い期待に応えるために会員事業所も商品の展示の工夫や新メニューの開発等に大いに奮闘されました。ワンコイン de スタンプラリーは「だいすき宝塚」事業の原点であり、地域に根付いた事業となりました。

<重点事業 2> 社会実験～花のみちと武庫川水辺のオープンカフェ

武庫川の水辺とオープンカフェのイメージの定着と新たな交流広場の創出を目指し社会実験に取り組みました。

周辺地域の事業者の関心は高かったものの継続的な事業としての取り組みはやや難しいとの声もあり、「1 万人のラインダンス」事業に合わせる事業として実施しました。当日の天候の影響もあり、売り上げも低調でオープンカフェの難しさを痛感し社会実験を終えました。

＜重点事業3＞ 宝塚ご当地グルメの開発 ～ 地元食材を活かしながら ～

「宝塚くいしんぼ倶楽部」を会員有志が結成。徹底的に調査・研究を重ね、第一弾として「コロッケ」を開発。各種のイベントに出店し、販売を通じて消費者の声を集め成果の検証にも努めました。ユニークな形と三種類のテイストなどで上々の反応が得られ、引き続き第二弾・第三弾と開発を進めることを目指します。

＜重点事業4＞ 会員増強

商工会議所事業に多くの参加を募り、交流の場を持つ重要性を広く周知するため、会議所活動を平易に表現した冊子を作成しました。

役員議員を中心に新規加入会員の紹介による増強を図りましたが、一方で事業者の高齢化による廃業等の退会もあり、会員数は微増にとどまりました。

総務常任委員会が中心となって検討された「会員増強」の手法は効果が高く、次年度も増強運動に取り組みます。

＜重点事業5＞ 地域ビジネス創出支援事業

起業・創業を考えている方や漠然と何かしたいと考えている方などを対象とした事業を実施してまいりましたが、本年度は事業を4日間に拡大し延べ74人が参加、起業・創業をより明確にイメージを形成しやすい内容で取り組みました。

また、周辺事業として「ビジネスプランコンテスト」等も実施しました。